

あとがき

急速な情報化やグローバル化といった社会的な変化の激しい予測困難な時代を子供たちが自信を持って自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していくことができるよう、必要な資質・能力をしっかりと育てていくことが求められています。そうした資質・能力として、読解力、論理的思考力、創造性、問題解決能力などは、時代を超えて常にその重要性が指摘されてきており、これからの時代においてもその重要性が変わることはありません。これらに加えて、情報や情報技術を問題の発見・解決に活用していく力（情報活用能力）の重要性も高まっています。そのような中、本校学校教育目標「知・徳・体の調和の取れた児童の育成を図り、児童一人一人のよさと可能性を伸ばす」・めざす子ども像の「考え深い子」の具現化をめざし校内研究を進めて参りました。

校内研究における本年度のテーマを「自ら学び、考えを深めることができる児童の育成」、サブテーマを「論理的思考力を養うための指導法の工夫」とし、論理的思考力を養うための授業づくりとICT活用について研究しました。論理的思考力を養う授業を通して、自ら学び、考えを深める児童を育てることを目標とし、研究主任を中心として、「甲府スタイル」の授業づくりを行いました。特に「動き出したくなる課題」「確かな発問」「振り返り」に重点をおいた「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に取り組みました。また論理的思考力を養うために協働的な学習が有効な場合が多いと捉えICT機器の有効活用についても模索しました。一番の成果は、低・中・高の3ブロックでの実践授業を参観し研究会で指導助言をいただく中で論理的思考力を養う授業づくりについて理解を深め、それぞれの学級において「甲府スタイル」の授業を拠り所にしなが、玉諸小の「話し方・聞き方」をもとに玉諸スタイルの授業にチャレンジし、子どもたちの論理的思考力を高めるための実践力の向上に努めたことです。将来どのような職業につくとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「論理的思考力」を育むための授業づくりについて研究を進めたことは意義の高いものであったと言えます。また、授業の土台である「学級経営」と「授業づくり」について講師をお招きし学び、その後の学級経営や授業づくりに生かすことができました。

今後は、これまでの研究成果を生かしなが、子どもたちが自分のよさと可能性を最大限に発揮できるよう支援し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となるための力を子どもたちに育むため、チーム玉諸小としてさらに研鑽を重ねて参ります。

おわりに、本校の研究に対しまして、特段の御支援と御指導を賜りました講師の皆様、関係機関の皆様に、心から感謝と御礼を申し上げます。

御指導いただいた先生方

甲府市教育委員会学力向上委員	加賀美 猛 先生
甲府市立湯田小学校 校長	一瀬 孝仁 先生
山梨大学大学院教育学研究科 准教授	角田 大輔 先生
新潟市立新潟小学校 教諭	小川 雅裕 先生
富士河口湖町立小立小学校 教諭	渡邊 克吉 先生

(文責 教頭 永井恵子)